



## 「読解力」育成プロジェクト 講演会

・講師：**新井紀子氏**

国立情報学研究所 社会共有知研究センター センター長・教授  
一般社団法人 教育のための科学研究所 代表理事・所長

・演題 **「AIに負けない子どもを育てる」**

8月2日(月)、講師の新井紀子様と燕市をつなぐオンライン講演会を開催しました。燕市が取り組む「読解力」育成の重要性、必要性について先生方が理解を深めることをねらいとして新井様にご講演いただきました。AIと「読解力」、「読解力」と学力の相関、そして「読解力」を育成する授業づくりについて具体的にお話しいただきました。あっという間の90分間でした。



先生方の  
モチベーションアップ!!

### 講演会を終えて、先生方の感想

当日の夕方、さっそく感想が届きました。ご紹介させていただきます。

- ・自分の学級の子もたちの読解力の無さについて、自分なりに考えていたことが、今日のお話を聞いて、よりはっきりと分かりました。教師が、きっとこのように読んでしまっているのだろう(誤読、誤答の原因)、と想像している部分がRSTの問題をさせることにより、見えてくると思います。それを授業改善に生かすように取り組んでいこうという意欲をもちました。ありがとうございました。
- ・子どもの読解力について不安を感じる保護者がいました。長善タイムや授業を工夫して、子どもたちの読解力を伸ばす努力が必要だと感じました。
- ・読解力と聞くと「国語」というイメージがありましたが、各教科で定着していくことが重要であると知り、今後の授業に生かしていきたいと思いました。
- ・5年生の社会科の教科書を通しての説明が分かりやすかった。・目当てから、その授業で何を学ぶのかを考えさせる。・グラフや表などの資料の特徴を文章で表現させる。・前時で学習した重要語句(キーワード)の振り返りを行う等、直ぐに役立つと思う
- ・朝の学習で視写を取り入れてみたいと思った。ドリル学習だけでなく、読解力向上を目指した授業づくりについてまずは考えていきたい。
- ・算数の文章題で何を求めるか理解できない子が多くいるが、そこには読解力が深く関わっていると今回の講演を通して分かった。社会の授業事案を通して、読解力を意識した授業づくりがどんなものか少しイメージすることができた。
- ・常々感じていることと共通することが多かった。基本を大事にする。汎用性のある資料提示で、スカッとしました。県教研の学習指導改善調査や全国学調やWEBの配信問題を私(たち)もやってみたいです。
- ・あらゆる教科で読解力を向上させていくこと。どの教科でも音読させながら、課題をノートに書かせてきた。これからも続けていきたい。国語以外の教科でも視写を取り入れていく。

